

お子さんの写真を募集します
写真の裏にお子さんの名前(ふりがな)・生年月日・住所・保護者名・電話が
番号を明記の上、応募してください。
送り先 〒321-1292 日光市今市
本町1番地 本庁舎
書広報課 広報広聴係
秘書



かみやま はる 翔琉くん
1歳8ヶ月・倉ヶ崎



しいや 椎谷 友宣くん
11ヶ月・七里



ふくだ ちさと 知聖ちゃん
11ヶ月・木和田島



やまとこし だいち 山越 大地くん
1歳・日向

みんなのひろば



とおやま ひかる 遠山 輝くん
2歳・清滝中安戸町

今月のすまいるさんは
ホテルの若女将として働きながら、民話を伝える語り部の活動をしている

伴 弘美さん

今月のすまいるさん

- お子さんの写真を募集します
- 写真の裏にお子さんの名前(ふりがな)・生年月日・住所・保護者名・電話が
- 番号を明記の上、応募してください。
- 送り先 〒321-1292 日光市今市
- 本町1番地 本庁舎
- 書広報課 広報広聴係
- 秘書



栗山地域で行われる文化祭で、民話を披露している伴さん。

語り部として、栗山地域に残る数々の民話を伝えている語り部グループの伴弘美さんを紹介します。伴さんは、湯西川温泉街にあるホテルの若女将として働きながら、仕事の合間をぬつて語り部としての活動や練習をしています。メンバーは伴さんを含め6人で、主に湯西川の「平家の里」で、観光客を対象に民話を披露しています。また去年の秋から地元の小学生に民話を教える活動も始めました。

伴さんは「湯西川温泉でホテルの支配人をしている方から、若い人たちが語り部をやれば意外性があつておもしろい。地域の活性化にもつながるのでやつてみたらいどうか」と言われたのが語り部を始めたきっかけです」と話してくれました。

3年経つた今では、ずいぶん慣れてきた様子でしたが、始めたころはいろいろな苦労が

あつたそうです。「民話独特の言い回しや地区ごとに違う訛り、方言を覚えるのが大変でした。元にしている資料も昔のものなので、内容があいまいな部分があり、近所に住むお年寄りに聞きながら手直しして覚えました」と伴さんは、「そうした地道な作業の一つ一つが、テレビやラジオにはない温かさを民話を語り部としての活動や練習をしていま

